

# 平成29年度 函館市病院事業の経営実績

平成30年6月  
函館市病院局

# 目 次

## I 平成29年度の経営状況

- 1 患者数等および収支状況 . . . . . 1～4 ページ
- 2 主な経営指標等 . . . . . 5～6 ページ

## II 過去5か年の経営実績

- 1 医業収益（函館病院） . . . . . 7～8 ページ
- 2 医業収益（恵山病院） . . . . . 9 ページ
- 3 医業収益（南茅部病院） . . . . . 10 ページ
- 4 未収金の状況 . . . . . 11 ページ
- 5 医業収益に対する材料費の割合 . . . . . 12 ページ

## III （新）改革プラン収支計画との比較

- 1 収支計画と実績の比較 . . . . . 13 ページ
- 2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績 . . . . . 14～17 ページ

# I 平成29年度の経営状況

## 1 患者数等および収支状況

### ① 函館病院

入院患者数は、前年度に比べ19.0人増の439.4人であり、年間新規入院患者数（入院件数）は581人増の11,801人となり、年間平均在院日数は0.1日短縮し12.6日となっています。

精神は医師の減少により27年度から病棟閉鎖しています。

外来患者数は、一般では逆紹介の推進等を行ったところであり、前年度に比べ56.6人増の1,130.9人となっています。

区分	H28決算 A	H29決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	420.4 人/日	439.4 人/日	19.0 人/日
年間新規入院患者数	11,220 人	11,801 人	581 人
年間平均在院日数	12.7 日	12.6 日	△ 0.1 日
外来患者数（一般）	1,074.3 人/日	1,130.9 人/日	56.6 人/日
“（精神）	15.4 人/日	16.2 人/日	0.8 人/日
病床利用率（一般618床）	68.0 %	71.1 %	3.1 %
“（結核，感染症，休床除く）	85.2 %	91.9 %	6.7 %

※函館病院病床数 一般618床（一般病床582，結核病床30，感染病床6），精神50床（休床）  
 [一般病床の休床：H28. 4～7月：69床，8月：77床，9～12月：105床，1～3月：110床  
 H29. 4～9月：110床，10～3月：106床]

平成29年度の決算見込は、当年度資金過不足額が16億7,029万4千円の赤字となりましたが、会計基準の改定により生じる資金不足額6億8,213万8千円の影響もあり、これを除く実質収支は9億8,815万6千円の赤字となっており、前年度に比べ1,073万4千円のプラス、改革プランに対しては4億7,315万6千円のマイナスとなっています。

企業債の償還に係る負担（≒資本的収支差引）が前年度より約2億円増加していますが、前年度と同程度の資金不足となりました。

（単位：千円）

科目		H28決算A	H29決算見込B	差引B-A	H29改革プランC	差引B-C
経常収益	医業収益					
	入院収益	11,102,800	11,794,611	691,811	12,543,000	△ 748,389
	外来収益	4,043,123	4,151,819	108,696	4,268,000	△ 116,181
	その他	210,145	223,048	12,903	316,000	△ 92,952
	一般会計繰入金	308,753	324,109	15,356	313,000	11,109
	計	15,664,821	16,493,587	828,766	17,440,000	△ 946,413
	医業外・学院収益	2,272,537	1,827,152	△ 445,385	2,001,000	△ 173,848
	（うち一般会計繰入金）	(908,515)	(861,819)	(△ 46,696)	(895,000)	(△ 33,181)
	計	17,937,358	18,320,739	383,381	19,441,000	△ 1,120,261
経常費用	医業費用					
	給与費	7,665,555	7,954,086	288,531	7,815,000	139,086
	材料費	5,049,167	5,250,474	201,307	5,746,000	△ 495,526
	経費	3,481,437	3,542,786	61,349	3,651,000	△ 108,214
	その他	1,652,240	804,005	△ 848,235	844,000	△ 39,995
	計	17,848,399	17,551,351	△ 297,048	18,056,000	△ 504,649
	医業外・学院・予備費	1,226,981	1,223,703	△ 3,278	1,236,000	△ 12,297
	計	19,075,380	18,775,054	△ 300,326	19,292,000	△ 516,946
	経常損益	△ 1,138,022	△ 454,315	683,707	149,000	△ 603,315
	特別利益	1,301,364	805,690	△ 495,674	835,000	△ 29,310
	（うち一般会計繰入金）	(662,259)		(△ 662,259)		(0)
	（うち減損損失対応分）	(369,065)		(△ 369,065)		(0)
	特別損失	7,505,226	6,201	△ 7,499,025	7,000	△ 799
	（うち減損損失）	(7,505,083)		(△ 7,505,083)		(0)
	純損益	△ 7,341,884	345,174	7,687,058	977,000	△ 631,826
	損益勘定留保資金等	7,845,224	△ 964,606	△ 8,809,830	△ 1,101,000	136,394
	小計	503,340	△ 619,432	△ 1,122,772	△ 124,000	△ 495,432
	資本的収入	1,028,831	1,223,575	194,744	1,203,000	20,575
	（うち一般会計繰入金）	(994,081)	(1,201,334)	(207,253)	(1,201,000)	(334)
	資本的支出	1,868,802	2,274,437	405,635	2,256,000	18,437
	資本的収支差引	△ 839,971	△ 1,050,862	△ 210,891	△ 1,053,000	2,138
	当年度資金過不足額a	△ 336,631	△ 1,670,294	△ 1,333,663	△ 1,177,000	△ 493,294
	一般会計繰入金 合計	2,873,608	2,387,262	△ 486,346	2,409,000	△ 21,738
	うち特殊な繰入金 b	662,259		△ 662,259		0
	うち会計基準改定分 c		△ 682,138	△ 682,138	△ 662,000	△ 20,138
	実質収支 a-b-c	△ 998,890	△ 988,156	10,734	△ 515,000	△ 473,156

## ② 恵山病院

入院患者数は、他病院からの転院患者の減少等により、前年度に比べ7.1人減の36.3人となっています。

外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、前年度に比べ1.5人減の56.4人となっています。  
病床利用率は、前年度に比べ12.0%下回り60.4%となっています。

区分	H28決算 A	H29決算見込B	差引B-A
入院患者数	43.4 人/日	36.3 人/日	△ 7.1 人/日
外来患者数	57.9 人/日	56.4 人/日	△ 1.5 人/日
病床利用率	72.4 %	60.4 %	△ 12.0 %

※恵山病院病床数 療養60床

平成29年度の決算見込は、当年度資金過不足額が2,910万9千円の赤字となりましたが、地域医療確保のための一般会計からの補助金9,278万円を受けているほか、会計基準の改定により生じる資金不足額2,698万7千円があり、このような特殊要素を除き、実質収支は9,490万2千円の赤字となっています。前年度に比べ、8,130万4千円のマイナス、改革プランに対しては5,590万2千円のマイナスとなっています。

(単位：千円)

科目			H28決算A	H29決算見込B	差引B-A	H29改革プランC	差引B-C
経常収益	医業収益	入院収益	327,351	281,009	△ 46,342	359,000	△ 77,991
		外来収益	101,789	110,410	8,621	104,000	6,410
		その他	14,584	14,628	44	11,000	3,628
		一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
		計	481,715	444,038	△ 37,677	512,000	△ 67,962
経常費用	医業費用	給与費	419,748	404,550	△ 15,198	381,000	23,550
		材料費	56,717	54,270	△ 2,447	60,000	△ 5,730
		経費	147,881	150,596	2,715	195,000	△ 44,404
経常損益	その他	61,246	60,275	△ 971	62,000	△ 1,725	
	計	685,592	669,691	△ 15,901	698,000	△ 28,309	
経常損益	医業外収益	186,627	246,979	60,352	196,000	50,979	
	(うち一般会計繰入金)	(166,231)	(225,797)	(59,566)	(174,000)	(51,797)	
経常損益	計	668,342	691,017	22,675	708,000	△ 16,983	
特別利益	医業外費用	24,178	24,156	△ 22	26,000	△ 1,844	
特別損失	計	709,770	693,847	△ 15,923	724,000	△ 30,153	
純損益	一般会計繰入金 合計	△ 41,428	△ 2,830	38,598	△ 16,000	13,170	
損益勘定留保資金等	うち特殊な繰入金等 b	362,700	1,905	△ 360,795	1,000	905	
小計	うち会計基準改定分 c	(360,664)	(△ 360,664)	(△ 360,664)		(0)	
資本的収入	特別損失 (うち減損損失)		127	127	1,000	△ 873	
資本的支出	純損益	321,272	△ 1,052	△ 322,324	△ 16,000	14,948	
資本的収支差引	損益勘定留保資金等	72,359	△ 11,746	△ 84,105	2,000	△ 13,746	
当年度資金過不足額 a	小計	393,631	△ 12,798	△ 406,429	△ 14,000	1,202	
一般会計繰入金 合計	資本的収入 (うち一般会計繰入金)	19,937	21,153	1,216	21,000	153	
うち特殊な繰入金等 b	資本的支出	(19,937)	(21,153)	(1,216)	(21,000)	(153)	
うち会計基準改定分 c	資本的収支差引	33,521	37,464	3,943	37,000	464	
実質収支 a-b-c	資本的収支差引	△ 13,584	△ 16,311	△ 2,727	△ 16,000	△ 311	
	当年度資金過不足額 a	380,047	△ 29,109	△ 409,156	△ 30,000	891	
	一般会計繰入金 合計	584,823	284,941	△ 299,882	233,000	51,941	
	うち特殊な繰入金等 b	393,645	92,780	△ 300,865	39,000	53,780	
	うち会計基準改定分 c		△ 26,987	△ 26,987	△ 30,000	3,013	
	実質収支 a-b-c	△ 13,598	△ 94,902	△ 81,304	△ 39,000	△ 55,902	

### ③ 南茅部病院

入院患者数は、一般では前年度に比べ4.5人減の18.3人となっています。  
 また、療養では前年度に比べ5.1人下回り16.2人となっています。  
 外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、前年度に比べ9.2人増の84.3人となっています。  
 病床利用率は、前年度に比べ1.2%上回り58.6%となっています。

区分	H28決算 A	H29決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	22.8 人/日	18.3 人/日	△ 4.5 人/日
"    （療養）	11.1 人/日	16.2 人/日	5.1 人/日
外来患者数	93.5 人/日	84.3 人/日	△ 9.2 人/日
病床利用率	57.4 %	58.6 %	1.2 %

※南茅部病院病床数 一般37床，療養22床

平成29年度の決算見込は、当年度資金過不足額が914万7千円の赤字となりましたが、地域医療確保のための一般会計からの補助金1億82万6千円を受けているほか、会計基準の改定により生じる資金不足額1,856万5千円があり、このような特殊要素を除き、実質収支は9,140万8千円の赤字となっています。前年度に比べ、3,477万2千円のマイナス、改革プランに対しては3,440万8千円のマイナスとなっています。

（単位：千円）

科目		H28決算A	H29決算見込B	差引B-A	H29改革プランC	差引B-C
経常収益	医業収益					
	入院収益	252,221	217,033	△ 35,188	270,000	△ 52,967
	外来収益	119,060	104,417	△ 14,643	125,000	△ 20,583
	その他	9,743	9,197	△ 546	10,000	△ 803
	一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
	計	419,015	368,638	△ 50,377	443,000	△ 74,362
	医業外収益	208,789	227,497	18,708	188,000	39,497
	（うち一般会計繰入金）	(200,870)	(225,189)	(24,319)	(185,000)	(40,189)
	計	627,804	596,135	△ 31,669	631,000	△ 34,865
経常費用	医業費用					
	給与費	281,552	281,967	415	288,000	△ 6,033
	材料費	77,170	64,604	△ 12,566	85,000	△ 20,396
	経費	200,462	196,851	△ 3,611	216,000	△ 19,149
	その他	32,138	2,544	△ 29,594	8,000	△ 5,456
	計	591,322	545,966	△ 45,356	597,000	△ 51,034
	医業外費用	16,902	15,636	△ 1,266	18,000	△ 2,364
	計	608,224	561,602	△ 46,622	615,000	△ 53,398
	経常損益	19,580	34,533	14,953	16,000	18,533
	特別利益	484,854	9,377	△ 475,477	10,000	△ 623
	（うち一般会計繰入金）	(467,967)		(△ 467,967)		(0)
	（うち減損損失対応分）	(12,248)		(△ 12,248)		(0)
	特別損失	306,864	1	△ 306,863	1,000	△ 999
	（うち減損損失）	(306,864)		(△ 306,864)		(0)
	純損益	197,570	43,909	△ 153,661	25,000	18,909
	損益勘定留保資金等	295,420	△ 43,154	△ 338,574	△ 34,000	△ 9,154
	小計	492,990	755	△ 492,235	△ 9,000	9,755
	資本的収入	8,376	9,433	1,057	9,000	433
	（うち一般会計繰入金）	(8,376)	(9,433)	(1,057)	(9,000)	(433)
	資本的支出	16,741	19,335	2,594	19,000	335
	資本的収支差引	△ 8,365	△ 9,902	△ 1,537	△ 10,000	98
	当年度資金過不足額a	484,625	△ 9,147	△ 493,772	△ 19,000	9,853
	一般会計繰入金 合計	715,204	272,613	△ 442,591	232,000	40,613
	うち特殊な繰入金等 b	541,261	100,826	△ 440,435	57,000	43,826
	うち会計基準改定分 c		△ 18,565	△ 18,565	△ 19,000	435
	実質収支 a-b-c	△ 56,636	△ 91,408	△ 34,772	△ 57,000	△ 34,408

#### ④ 3病院合計

3病院の合計では、当年度資金過不足額が17億855万円の赤字となりましたが、恵山、南茅部の地域医療を確保するための一般会計からの補助金1億9,360万6千円を受けているほか、会計基準の改定により生じる資金不足額7億2,769万円があり、このような特殊要素を除き、実質収支は11億7,446万6千円の赤字となっています。前年度に比べ1億534万2千円のマイナス、改革プランに対しては5億6,346万6千円のマイナスとなっています。

なお、参考として、過去5か年の実質収支の推移を記載しています。

(単位：千円)

科目		H28決算A	H29決算見込B	差引B-A	H29改革プランC	差引B-C	
経常収益	医業収益	入院収益	11,682,372	12,292,653	610,281	13,172,000	△ 879,347
		外来収益	4,263,972	4,366,646	102,674	4,497,000	△ 130,354
		その他	234,472	246,873	12,401	337,000	△ 90,127
		一般会計繰入金	384,735	400,091	15,356	389,000	11,091
	計	16,565,551	17,306,263	740,712	18,395,000	△ 1,088,737	
医業外収益 (うち一般会計繰入金)		2,667,953 (1,275,616)	2,301,628 (1,312,805)	△ 366,325 (37,189)	2,385,000 (1,254,000)	△ 83,372 (58,805)	
計		19,233,504	19,607,891	374,387	20,780,000	△ 1,172,109	
経常費用	医業費用	給与費	8,366,855	8,640,603	273,748	8,484,000	156,603
		材料費	5,183,054	5,369,348	186,294	5,891,000	△ 521,652
		経費	3,829,780	3,890,233	60,453	4,062,000	△ 171,767
		その他	1,745,624	866,824	△ 878,800	914,000	△ 47,176
	計	19,125,313	18,767,008	△ 358,305	19,351,000	△ 583,992	
医業外・学院・予備費		1,268,061	1,263,495	△ 4,566	1,280,000	△ 16,505	
計		20,393,374	20,030,503	△ 362,871	20,631,000	△ 600,497	
経常損益		△ 1,159,870	△ 422,612	737,258	149,000	△ 571,612	
特別利益 (うち一般会計繰入金)		2,148,918 (1,490,890)	816,972	△ 1,331,946 (△ 1,490,890)	846,000	△ 29,028 (0)	
(うち減損損失対応分)		(381,313)		(△ 381,313)		(0)	
特別損失 (うち減損損失)		7,812,090 (7,811,947)	6,329	△ 7,805,761 (△ 7,811,947)	9,000	△ 2,671 (0)	
純損益		△ 6,823,042	388,031	7,211,073	986,000	△ 597,969	
損益勘定留保資金等		8,213,003	△ 1,019,506	△ 9,232,509	△ 1,133,000	113,494	
小計		1,389,961	△ 631,475	△ 2,021,436	△ 147,000	△ 484,475	
資本的収入 (うち一般会計繰入金)		1,057,144 (1,022,394)	1,254,161	197,017 (209,526)	1,233,000 (1,231,000)	21,161 (920)	
資本的支出		1,919,064	2,331,236	412,172	2,312,000	19,236	
資本的収支差引		△ 861,920	△ 1,077,075	△ 215,155	△ 1,079,000	1,925	
当年度資金過不足額 <sup>a</sup>		528,041	△ 1,708,550	△ 2,236,591	△ 1,226,000	△ 482,550	
一般会計繰入金 合計		4,173,635	2,944,816	△ 1,228,819	2,874,000	70,816	
うち特殊な繰入金等 <sup>b</sup>		1,597,165	193,606	△ 1,403,559	96,000	97,606	
うち会計基準改定分 <sup>c</sup>		0	△ 727,690	△ 727,690	△ 711,000	△ 16,690	
実質収支 a-b-c		△ 1,069,124	△ 1,174,466	△ 105,342	△ 611,000	△ 563,466	

実質収支の推移

(単位：千円)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
函館病院	601,468	△ 832,589	△ 902,526	△ 998,890	△ 988,156
恵山病院	13,260	△ 13,357	△ 72,874	△ 13,598	△ 94,902
南茅部病院	△ 11,484	△ 105,740	△ 113,005	△ 56,636	△ 91,408
3病院合計	603,244	△ 951,686	△ 1,088,405	△ 1,069,124	△ 1,174,466

## 2 主な経営指標等

### ① 経営指標に係る数値目標と実績

(単位：%)

区分	函館病院		恵山病院		南茅部病院	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
H27	95.1	89.6	91.4	72.3	83.0	67.6
H28実績	94.0	87.8	94.2	70.3	103.2	70.9
H29目標 (改革プラン)	100%以上	95%以上	100%以上	73%以上	100%以上	73%以上
H29実績	97.6	94.0	99.6	66.3	106.1	67.5

(参考) 同規模病院の全国平均値 (平成27年度)

区分	500床以上の病院		不採算地区病院で 50床以上100床未満	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
民間病院	102.6	102.6	—	—
公的病院 (自治体以外)	101.3	101.0	—	—
公立病院 (黒字)	103.0	98.5	103.5	82.6
公立病院 (上位1/2)	103.2	98.6	102.8	82.1
公立病院 (全体)	100.3	95.5	97.9	77.9

※ 各指標の算式 (消費税抜き)

1. 経常収支比率

経常収益 (医業収益 + 医業外収益) ÷ 経常費用 (医業費用 + 医業外費用) × 100

2. 医業収支比率

医業収益 ÷ 医業費用 × 100

## ② 医療機能等指標に係る数値目標と実績

### □ 函館病院

項目	目標値	H28実績	H29実績
院内がん登録件数（※）	1,500件以上	1,377	（見込）1,240件
救急車受入件数（ヘリ含む）	5,000件以上	5,475件	5,700件
手術件数	3,000件以上	2,966件	2,954件
分娩件数	200件以上	67件	105件
他病院への医師等派遣	年間延べ200日以上	123日	195日

※院内がん登録件数については1月～12月の暦年で表示。H29は集計中のため見込数値。

### □ 恵山病院

項目	目標値	H28実績	H29実績
入院患者のうち、医療区分2,3（※）の割合	80%以上を維持	87.2%	81.6%
救急患者受入人数	300人以上を維持	318人	299人
入院透析患者数	11人	7.6人	9.7人
外来透析患者数	5人	8.4人	10.9人
地域ケア会議の開催	年12回開催を維持	年12回開催	年12回開催

※人工呼吸器や人工透析等を必要とする、慢性期の中でも医療の必要度が高い患者

### □ 南茅部病院

項目	目標値	H28実績	H29実績
救急患者受入人数	300人以上を維持	316人	291人
地域ケア会議の開催	年12回開催	年7回開催	年12回開催
地域との懇談会等の開催	年8回開催	年4回開催	年1回開催



## Ⅱ 過去5か年の経営実績

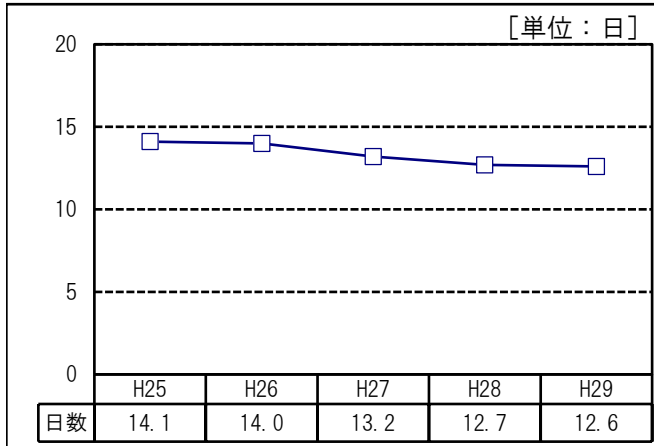
### 1 医業収益（函館病院）

29年度の一般の年間平均在院日数は12.6日で、28年度の12.7日に対し0.1日短縮したものの、新規入院患者数は11,801人で、28年度の11,220人に対し581人の増となったことから、1日平均の入院患者数は439.4人となり、28年度の420.4人に対し19人の増となっています。

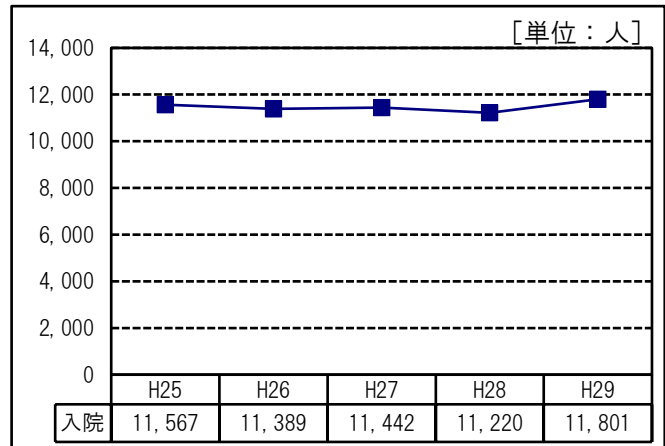
一般の患者1人あたり入院診療単価は73,549.3円で、28年度の72,356.5円に対し1,192.8円の増となっています。

精神は医師減により休床となっています。

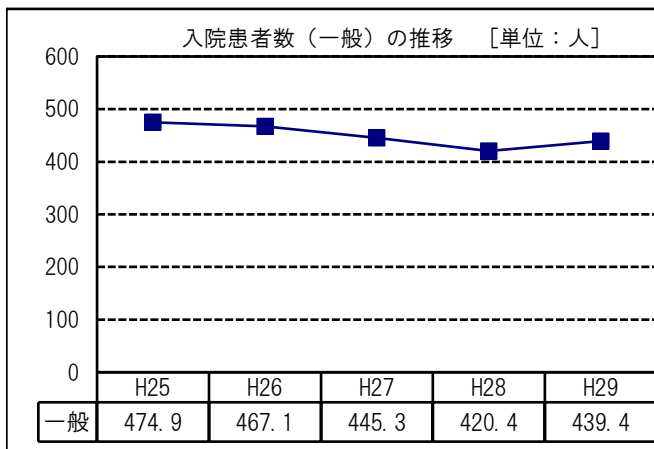
#### □ 年間平均在院日数（一般）



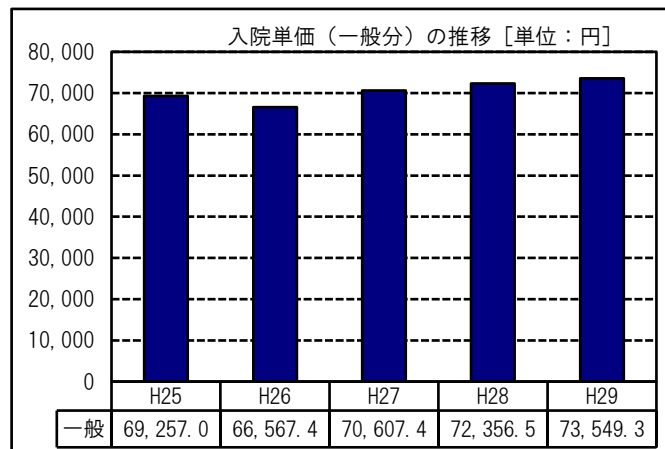
#### □ 新規入院患者数



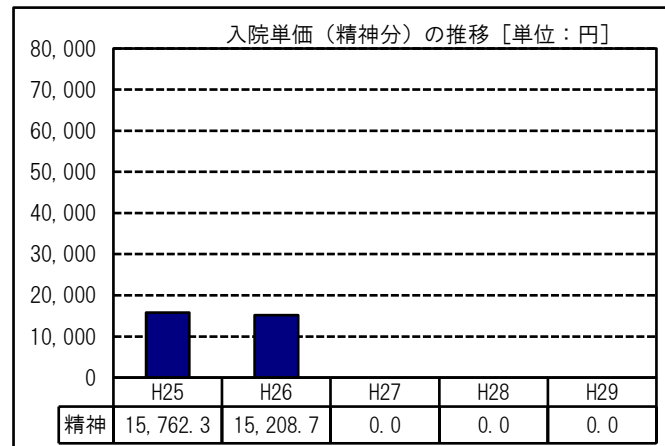
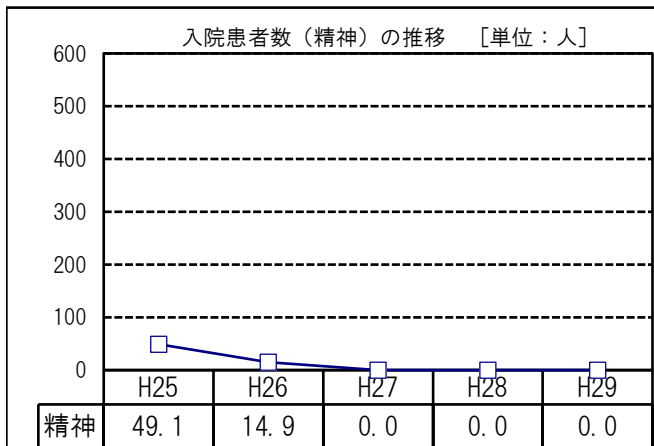
#### □ 入院患者数（1日平均）



#### □ 患者1人あたり入院診療単価（一般）



#### □ 入院患者数および診療単価（精神）

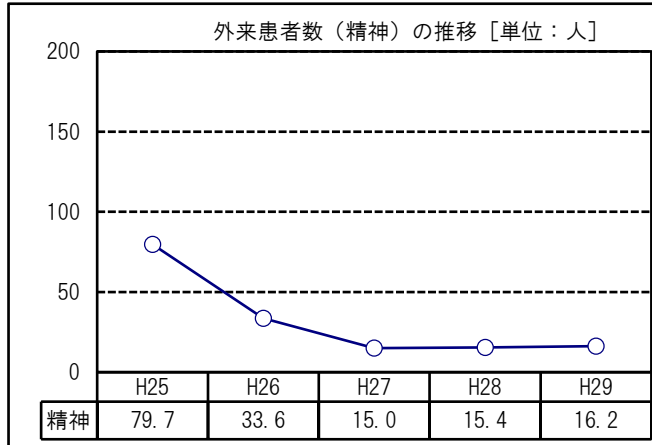
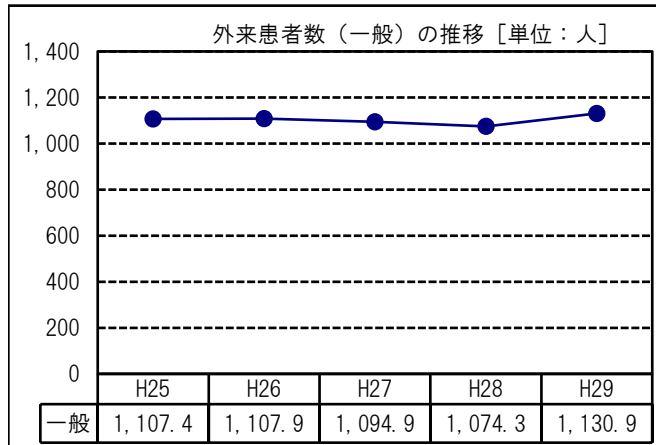


29年度の1日平均の外来患者数は、一般は1,130.9人で、28年度の1,074.3人に対し56.6人の増、精神は16.2人で、28年度の15.4人に対し0.8人の増となっています。

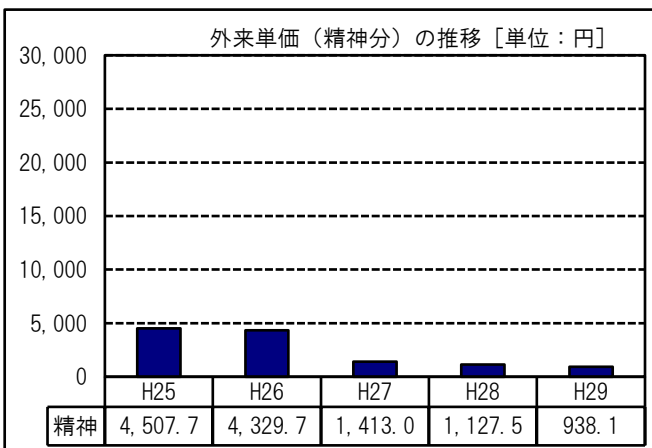
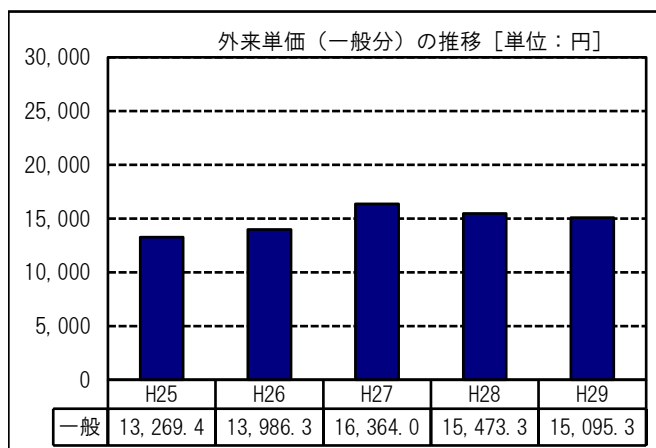
29年度の患者1人あたり外来診療単価は、一般は15,095.3円で、28年度の15,473.3円に対し378円の減、精神は938.1円で、28年度の1,127.5円に対し189.4円の減となっています。

また、救急患者を除いた患者紹介率は42.6%で、28年度の40.5%に対し2.1%の増、逆紹介率は74.8%で、28年度の68.9%に対し5.9%の増となっています。

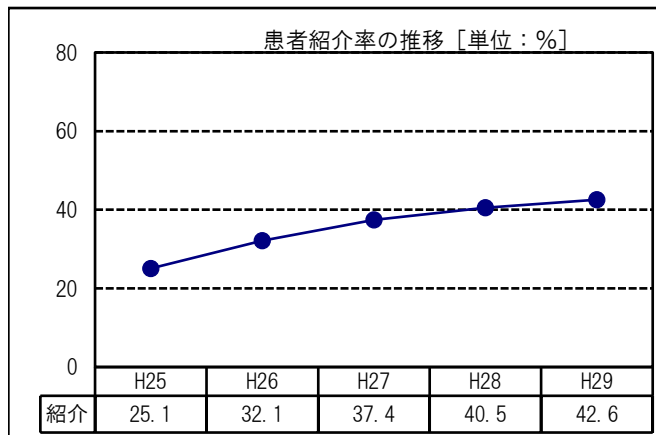
□ 外来患者数（1日平均）



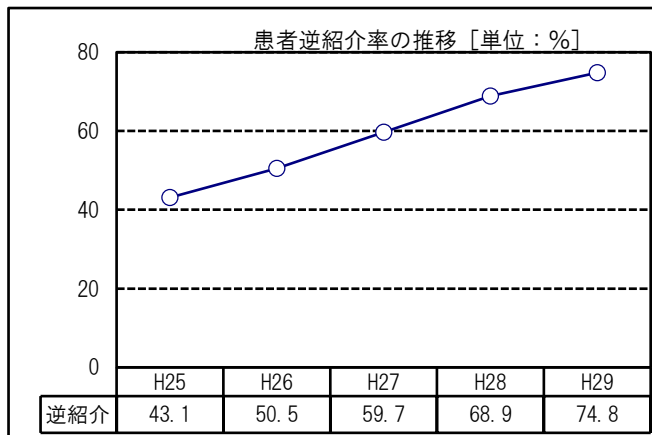
□ 患者1人あたり外来診療単価



□ 患者紹介率（救急患者を除く）



□ 患者逆紹介率

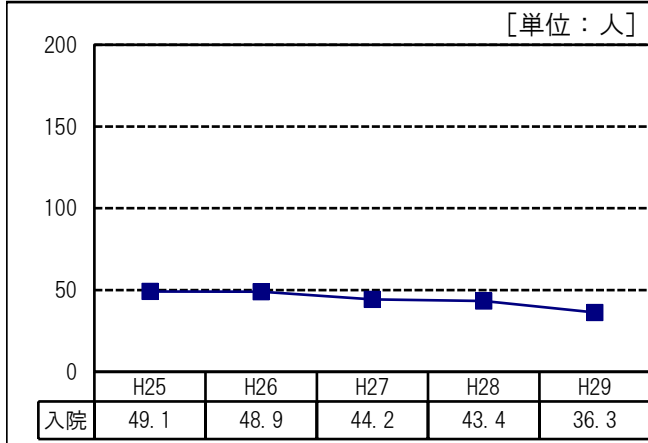


## 2 医業収益（恵山病院）

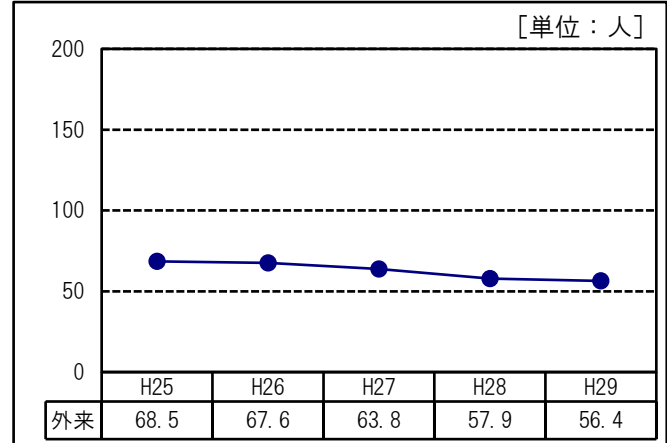
29年度の1日平均の入院患者数は36.3人で、28年度の43.4人に対し7.1人の減、外来患者数は56.4人で、28年度の57.9人に対し1.5人の減となっています。

29年度の患者1人あたり入院診療単価は21,227.5円で、28年度の20,658.3円に対し569.2円の増、外来診療単価は8,060.7円で、28年度の7,237.9円に対し822.8円の増となっています。

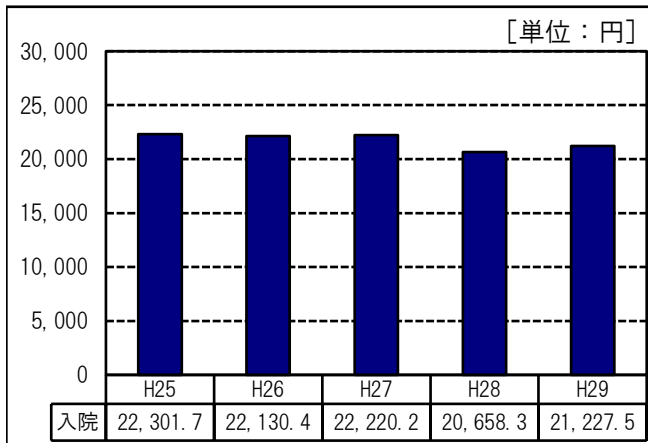
□ 入院患者数（1日平均）



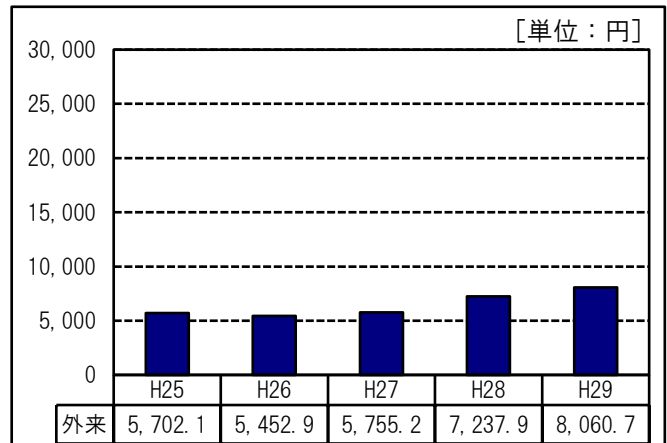
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



### 3 医業収益（南茅部病院）

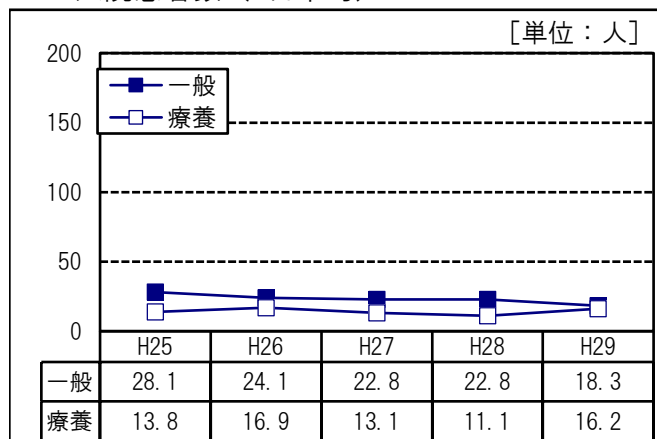
29年度の1日平均の入院患者数は、一般は18.3人で、28年度の22.8人に対し4.5人の減、療養は16.2人で、28年度の11.1人に対し5.1人の増となっています。

また、外来患者数は84.3人で、28年度の93.5人に対し9.2人の減となっています。

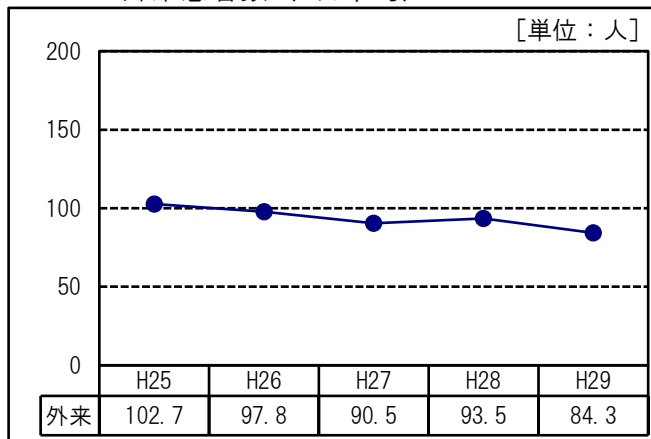
29年度の患者1人あたり入院診療単価は、一般は25,478円で、28年度の26,527.2円に対し1,049.2円の減、療養は7,883.4円で、28年度の7,892.9円に対し9.5円の減となっています。

また、外来診療単価は5,095.2円で、28年度の5,242.8円に対し147.6円の減となっています。

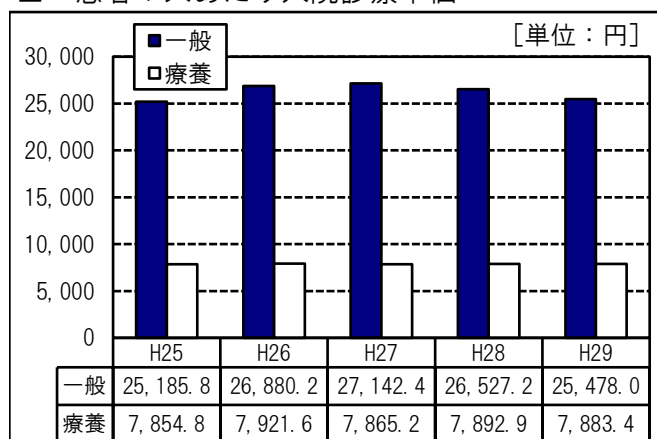
□ 入院患者数（1日平均）



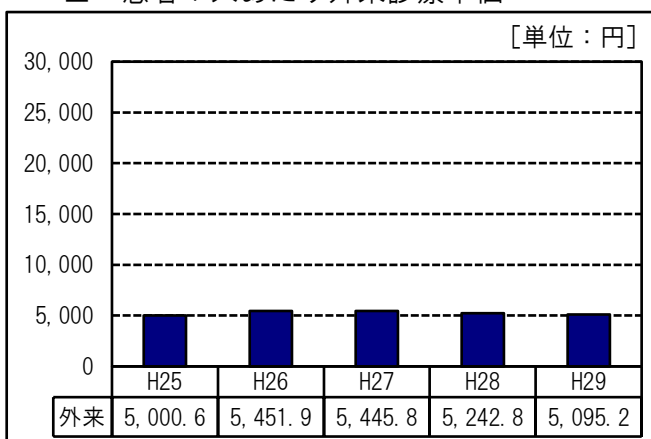
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



## 4 未収金の状況

函館病院では、未収金対策に取り組んでまいりました。

特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申立てを行っており、24年度から債権差押命令の申立て、27年度から未収金回収業務の弁護士への委託も行いました。

函館病院の29年度の未収額は、118,921千円で28年度130,031千円に対し11,110千円の減となっています。なお回収不能な未収金6,674千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の29年度の未収額は、2,057千円で28年度1,686千円に対し371千円の増となっています。なお回収不能な未収金43千円については不納欠損処分を行いました。

南茅部病院の29年度の未収額は、3,045千円で28年度2,283千円に対し762千円の増となっています。なお回収不能な未収金178千円については不納欠損処分を行いました。

また、会計基準の変更に伴い26年度から貸倒引当金を計上していますが、発生から3年を超過したものについては全額を引当額とし、発生から3年以内の債権については、貸倒実績率の過去3か年の平均により引当額を決定しています。

[単位：千円]

区分		H25	H26	H27	H28	H29
未収額	函館病院	222,294	144,299	150,599	130,031	118,921
	恵山病院	1,510	1,969	2,144	1,686	2,057
	南茅部病院	3,452	3,950	3,886	2,283	3,045
	3病院合計	227,256	150,218	156,629	134,000	124,023
貸倒引当額	函館病院		△ 53,164	△ 43,749	△ 42,947	△ 39,075
	恵山病院		△ 776	△ 787	△ 525	△ 364
	南茅部病院		△ 317	△ 359	△ 412	△ 534
	3病院合計		△ 54,257	△ 44,895	△ 43,884	△ 39,973

## 5 医業収益に対する材料費の割合

市立函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、29年度 品目数ベースで82.1%となっており、28年度の78.7%に対し3.4%増となっています。

薬品費全体では、肝炎の治療薬が減少したものの、患者数が増加したことや、がんの治療薬が増加したことなどから、前年度に比べ1億6,823万6千円増の34億8,251万9千円となっており、診療材料は前年度に比べ4,039万3千円増の20億6,825万4千円となっています。

なお、医業収益は入院・外来収益の合計で8億77万6千円の増となり、材料費が医業収益に占める割合は28年度に対して0.46%の減の34.81%となっています。

### 【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数÷使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数×100

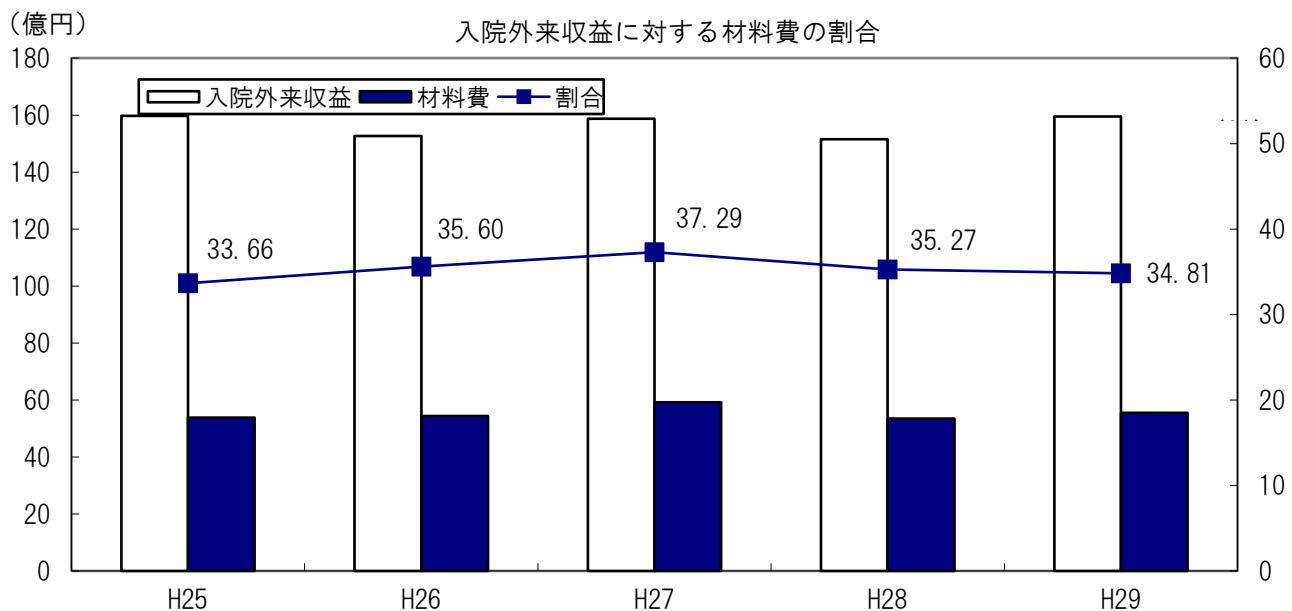
H28. 3月末現在  
70.6%



H29. 3月末現在  
78.7%



H30. 3月末現在  
82.1%



[単位：千円]

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H29-H28
入院収益	12,287,290	11,432,820	11,508,857	11,103,392	11,795,622	692,230
外来収益	3,688,070	3,831,964	4,359,117	4,043,552	4,152,098	108,546
計 A	15,975,360	15,264,784	15,867,974	15,146,944	15,947,720	800,776
薬品費	3,363,743	3,468,636	3,940,406	3,314,283	3,482,519	168,236
診療材料費	2,014,089	1,965,945	1,976,437	2,027,861	2,068,254	40,393
計 B	5,377,832	5,434,581	5,916,843	5,342,144	5,550,773	208,629
B÷A×100	33.66%	35.60%	37.29%	35.27%	34.81%	△0.46%

※消費税込みの額で算出しているため1ページの数値とは一致しません。

※参考：材料費（薬品費＋診療材料費＋医療用消耗備品費＋給食用材料費）÷医業収益（入院＋外来＋その他）

民間病院：27.9%（うち薬品費15.6%，その他12.3%。全国公私病院連盟による平成27年6月調査に基づく500床以上病院の平均値。）

市立函館病院：35.0%（うち薬品費21.5%，その他13.5%。医業収益に他会計負担金を含めず算出した平成29年度の数値。）

### Ⅲ (新) 改革プラン収支計画との比較

#### 1 収支計画と実績の比較

##### □ 資金過不足額

(単位：百万円)

区 分		H28	H29	H30	H31	H32	
函館病院	単年度	計画	△ 535	△ 1,177	△ 180	△ 19	103
		実績	△ 336	△ 1,670	(予算※ △485)		
	累積	計画	△ 1,749	△ 2,926	△ 3,106	△ 3,125	△ 3,022
		実績	△ 1,550	△ 3,220	(予算※ △3,705)		
恵山病院	単年度	計画	361	△ 30	0	0	0
		実績	380	△ 29	(予算※ △28)		
	累積	計画	30	0	0	0	0
		実績	49	20	(予算※ △8)		
南茅部病院	単年度	計画	467	△ 19	0	0	0
		実績	484	△ 9	(予算※ △87)		
	累積	計画	19	0	0	0	0
		実績	36	27	(予算※ △60)		
合計	単年度	計画	293	△ 1,226	△ 180	△ 19	103
		実績	528	△ 1,708	(予算※ △600)		
	累積	計画	△ 1,700	△ 2,926	△ 3,106	△ 3,125	△ 3,022
		実績	△ 1,465	△ 3,173	(予算※ △3,773)		

※ H30の実績欄の数値は、当初予算額に給与見直しの効果額を含めたもの

(給与見直しの効果額：函館病院248, 恵山病院13, 南茅部病院9)

##### □ 資金不足比率

(単位：%)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	9.9	15.9	16.4	16.4	15.9
実 績	8.8	18.3	(予算※ 21.7)		

※ 給与見直しの効果額を含む

##### □ 一般会計繰入金

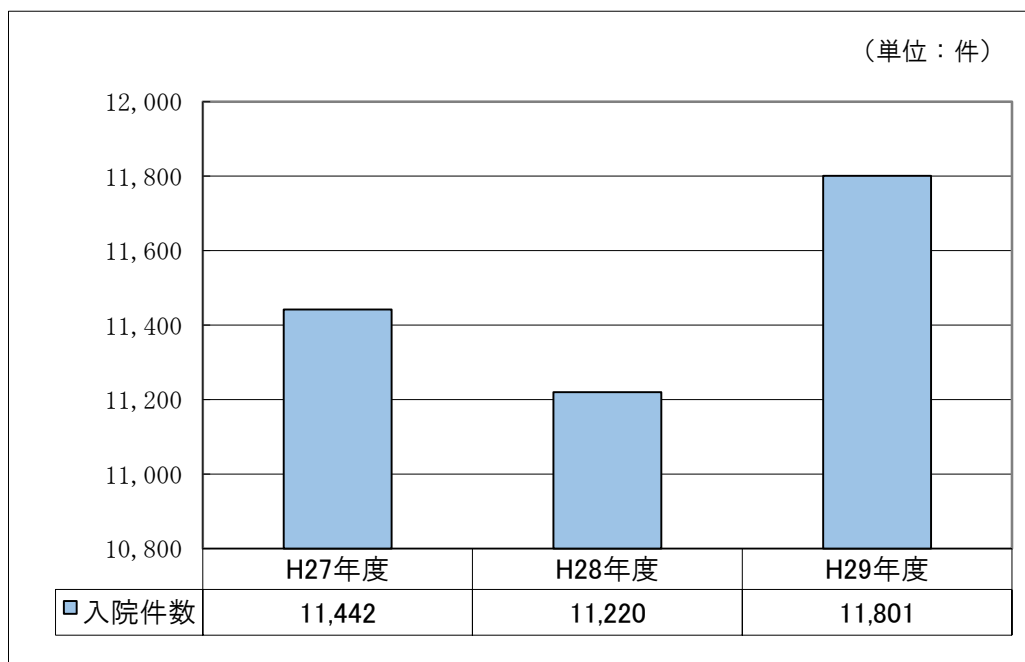
(単位：百万円)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	4,175	2,874	2,889	2,716	2,570
実 績	4,174	2,944	(予算 2,767)		

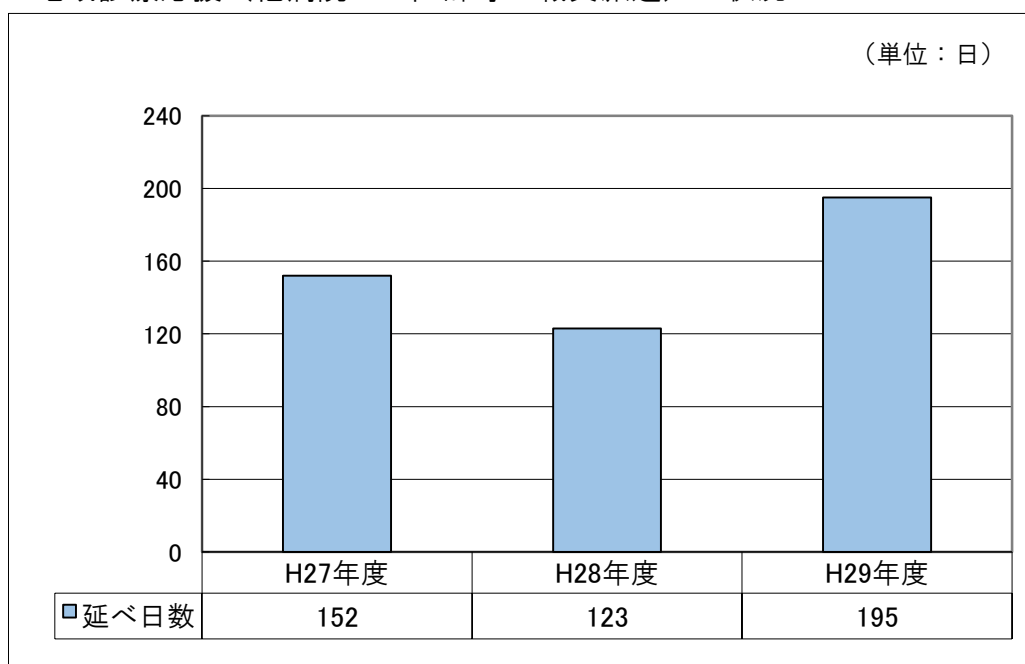
## 2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績

### (1) 入院件数の増加

#### ① 入院件数



#### ② 地域診療応援（他病院への医師等の職員派遣）の状況



### (2) 平均在院日数の適正化

(単位：%)

区分	I～II以内	左記以外
H28年度	51.8	48.2
H29年度	53.9	46.1



(3) 地域医療支援病院の指定

平成30年3月19日付け指令にて、北海道知事から地域医療支援病院の名称の承認を得た。

(4) D P C 特定病院群（旧 D P C II 群病院）の指定

要件	基準値	該当有無	
		実績値	
【実績要件1】診療密度	2,413.38	2,514.18	○
【実績要件2】医師研修の実施	0.0180	0.0344	○
【実績要件3】医療技術の実施			
外保連試案	(3a)：手術実施症例1例あたりの外保連手術指数（外科医師数及び手術時間補正後）	14.08	14.95 ○
	(3b)：DPC算定病床当たりの同指数（外科医師数及び手術時間補正後）	119.18	116.25 ×
	(3c)：手術実施症例件数	4,837	3,810 ×
特定内科診療	(3d)：症例割合	0.0095	0.0223 ○
	(3e)：DPC算定病床当たりの症例件数	0.2020	0.4776 ○
	(3f)：対象症例件数	124	234 ○
【実績要件4】補正複雑性指数（DPC補正後）	0.0954	0.2954	○

○ 上記のうち、【実績要件3】の(3b)および(3c)が基準値を上回ることができず、DPC特定病院群（旧DPC2群病院）と判定されなかった。

なお、(3b)または(3c)のどちらかが基準値を上回っていれば指定されることができた。

(5) 一般事務職員の病院独自採用

(単位：人)

区分	H28年度	H29年度
採用職員数	3	7

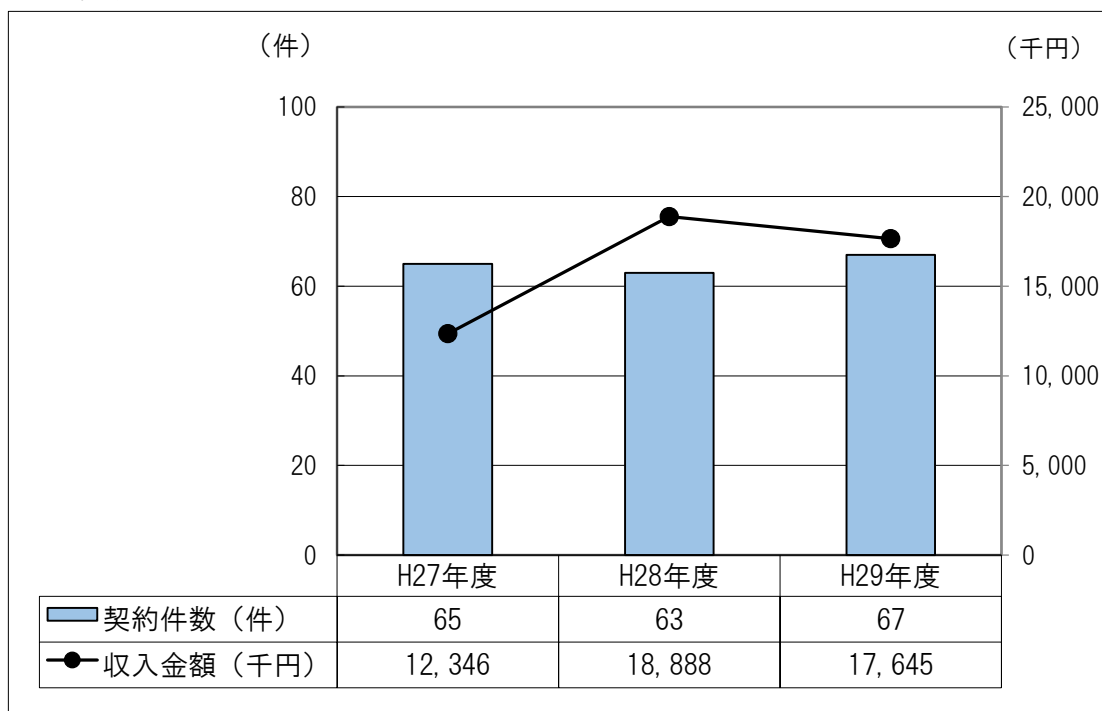
(6) E S C O 事業による設備改修と維持補修費の削減

H29. 9. 13 アズビル株式会社および芙蓉総合リース株式会社と  
市立函館病院 E S C O 事業委託の契約を締結

H29. 9. 20 着工

H30. 1. 31 工事完了

(7) 治験，製造販売後臨床試験への積極的な参加



(8) 材料比率の見直し

(単位：千円)

区 分	H27年度	H28年度	H29年度
入院外来収益 A	15,867,974	15,146,944	15,947,720
薬品診療材料費 B	5,916,843	5,342,144	5,550,773
B/A (%)	37.3	35.3	34.8

(9) その他の取り組み

① 入院収益に占める検査収入の割合の推移

(単位：千円)

区 分	H27年度	H28年度	H29年度
入院収入 A	11,646,673	11,314,126	11,964,487
うち検査および画像診断 B	706,575	636,010	654,336
B/A (%)	6.1	5.6	5.5

②手術件数（手術棟分）

